熊谷市議会　会派 日本共産党

政務活動費で発行しています

白根よしのり市政報告

〈白根住典〉〒360-0001 熊谷市上中条2190　TEL 070-4388-5273

2024年7月 発行

●6月議会での主な内容を報告いたします。

給食センター土地取得の予算に 反対

現センターに隣接する9153.07㎡の面積、取得費用は8,057万9,748円です。

昨年９月議会に新熊谷学校給食センター整備事業、今年３月議会には、金融、法務、技術面などの支援や、調査・検討・資料作成等の支援をおこなうアドバイザリー業務を委託する予算が出され、日本共産党議員団はどちらも反対しましたが、賛成多数で可決しました。

この一連の議案は、市内全校でセンター式給食を実施するため巨大なセンターを1つ作る準備となります。それにより、現在大里、妻沼地域で行っている自校式給食を奪い取り、江南給食センターも廃止するという考えのもと進められています。

2020年、八潮市では、学校給食で集団食中毒を起こし、４か月間給食の提供ができませんでした。大規模センターにはこうしたリスクもあり、自校式に切り替えている自治体もあります。

日本共産党議員団は、**地元の農産物や学校で子どもたちが作った農作物を取り入れやすい給食、作る人が見える、匂いがする給食、温かい給食を大切にしたい、そのためにも、熊谷市全域で自校式給食を実施すべき**と考えます。

これからでも見直していくべきです。自校式では費用が掛かりすぎるからセンター方式でという経済的合理性で「食育」を語れません。自校式給食を求める市民から8000筆を超える署名が市に提出され、議会にも陳情書が出されています。

定額減税が実施されますが…

本年6月より1人につき住民税1万円・所得税３万円の定額減税が実施されます。給与所得者については毎月の源泉徴収額が3万円に充るまで減額され、住民税は6月徴収分で調整されます。（普通徴収の方は1期課税分で調整される）

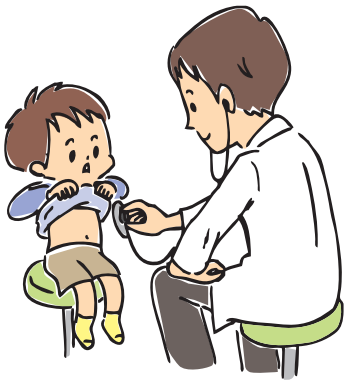
“事業所得者は基本的に来年の確定申告で減税される。”と記せば極めて簡単ですが、そう簡単にはいきません。対象世帯は

1 住民税非課税世帯
2 所得税は非課税　住民税が均等割のみ
3 所得税住民税とも課税されるが、納税額が今回の減税額に届かない場合が考えられる

1、2については臨時特別給付で対応し、自治体から確認書等が届けられ、それに基づき給付されます。3の場合、全国で3000万人以上に上ると見られる、減税しきれない分を給付する対象者への給付方法について、各自治体は確定申告や源泉徴収票に基づいてそれぞれ異なる給付金を算出し給付します。

これらの事務作業を行う事業者も自治体も大変な苦労を強いられるばかりで、減税の効果も疑問視されるこの制度は愚策としか言いようがありません。

こども医療費完全無償化へ



大山議員の一般質問での答弁で、県の補助金が拡充され県内の他自治体の状況も勘案して、市税等の完納用件を撤廃に向けて取り組む旨の答弁がありました。これにより熊谷市でもこども医療費の完全無償化が実現する公算が高まりました。

熊谷市の財政について

皆さんは熊谷市の財政はどのような状態にあると思いますか？

公共施設の統廃合問題や色々な場面でもお金がないという話をよく聞いてきたと思います。しかし端的に言えば**熊谷市は県内でも屈指の健全財政の自治体**です。

何にでも使える貯金は**約100億円**、公共施設を建設するための貯金**約100億円**、そして毎年の決算余剰金は**50億円**ほどで毎年推移しています。

自治体の黒字・赤字の率を示す実質収支比率という数字があります。この数字は3～5%が望ましいとされています。この数字が0に近いとギリギリの厳しい状況、逆に高過ぎると現在の納税者のためにお金を使っていないということになります。

では熊谷市はどうでしょうか、熊谷市は合併後ほとんどの年で10%を超えています。コロナ禍で市民の皆さんの生活が大変な時でさえ13～14%でした。この決算余剰金の一部を使うだけで下表のような事業ができます。しかし答弁では将来の財政不安などを理由に消極的です。

決算余剰金を使って こんなことができます

学校給食の完全無償化	約７億円
保育士の待遇に係る地域間格差の是正	約１億円
高齢者福祉タクシー助成事業を要支援まで広げた場合	約650万円

＊保育士の給与は公定価格により決まっています。熊谷市は行田・深谷に比べ３%ほど低くなっています。この差額を単独で補助した場合の試算。

今井地内の道路整備の様子

市民の要望が実現

今年度、引き続き整備が続く予定です。

熊谷市議会人事

議　長　小島正泰
副議長　田中　正
都市建設常任委員長　白根佳典
が新たに選任されました。

委員長の意気込み

現在熊谷市では、かわまちづくり・熊谷駅南口再整備計画など、都市建設常任委員会所管の重要案件が多くあります。委員長としてイニシアチブを発揮し議論をリードしていきたいと思います。　〈白根よしのり〉